

国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

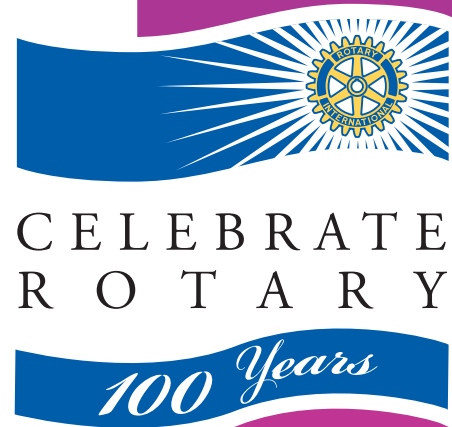
ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F

TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512

e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER	3
ガバナー日記	4
ロータリー100周年記念事業特集	7
R13700地区大会出席報告	10
次年度タイ3350地区へ派遣するGSEメンバーが決まりました	12
地区委員会活動報告	
・家庭奉仕について思う	13
・第3回家庭奉仕委員会報告	14
・滝川RCより救急車が届きました	15
・国際奉仕委員会報告	16
クラブ活動紹介	
・栗山RC創立35周年を迎えて	17
ハイライトよねやま62	18
親睦活動委員会ニュース	
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	
米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます	20
ロータリー文庫通信	
2007~2008年度ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	
ガバナー・ノミネーの選出手続きの変更	21
掲示板/ガバナー事務所からのお願い	22
3月会員増減数・出席率報告	23
新入会員のご紹介/訃報	24
5・6月地区カレンダー	25

2004-2005 Governor
ENDO HIDEO

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.11 **5**
2005.

2005年地区協議会

日 時：2005年4月10日(日)

ホストRC：札幌南RC

会 場：札幌パークホテル

外の肌寒さをよそに、熱気あふれる会場に500名を越える次年度各リーダーと、60名あまりの次年度地区役員の皆様が集まり、遠藤秀雄ガバナーの点鐘で地区協議会が始まりました。講演に先立ち、ホストRCの須田義雄会長の歓迎挨拶、遠藤ガバナーからの出席役員紹介と挨拶があり、竹山涼一元RI理事(PG)の講話と続きました。塚原房樹ガバナーエレクトの講演は、RIテーマの理解と地区の運営方針についての具体的なお話です。

伊藤長英地区研修リーダー(PG)の講演は、ロータリーにおける指導力のお話を主にされ、最後にロータリーの理解力を増すために、手続要覧やロータリーの友などをよく読むようにと締められていました。

午後からは、「会長」「幹事」「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」の7分科会が開会され、分科会終了後の全体会議のなかで、各担当ガバナー補佐による分科会の報告、遠藤秀雄ガバナーの所感のち、塚原房樹ガバナーエレクトより次年度のリーダー達に熱いエールを送られ、協議会が閉会となりました。



G ガバナー's レター GOVERNOR'S LETTER

水と命

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



20年以上も前になりました。2004年、長雨のため登別にある室蘭市の貯水池が土砂崩れで埋まってしまったことがあります。私の病院は当時270名の入院患者さんをかかえ、給食や生活用水を求めて3日間あちこち走り廻った苦い経験があります。その

ため、いまだに水に関しては敏感であり、強い関心を持っています。しかし日本ではこのような災害や長引く日照り以外で飲料水はおろか、生活用水にも困る話は聞こえて参りません。一時“水と空気はタダみたいなもの”と云われていましたが、目覚ましい工業化の影響で河川の汚染問題が深刻化し、その対策が急がれ安全な水が飲めるようになって来ました。しかし環境保全の遅れや、複雑な工業化学化によっては、水の安全性に監視の手をゆるめることは出来ないと思います。

グレン・E・エステス R I 会長は今年度の強調事項の1つに水問題を取りあげています。

安全な水を得られない人々が10~12億人います。この事実がもたらす残酷な結果の一つは、汚れた飲料水と衛生設備のため毎日6,000人(年間200万人以上)の子供たちが死亡しているのです、と述べています。地球上に水のうち海水と氷以外は0.3%であり地下水が0.2%で河川水は0.1%に過ぎません。無制限な人口増加は、やがて水不足による人類滅亡へとつながりかねません。水がGoldより高価なものになるかも知れないと言う警告が当たらないことを願うのみです。

ゾーン研究会の報告の一部でも述べましたように、アフリカ、中近東やアジアの一部の国や地域では安全

な水が飲めない人々が大勢います。アフリカの水使用量は日本の6分の1以下とされています。関場慶博 パスト・ガバナーはガーナでの生活体験でエアコン使用済みの水で何とかしのいだり、エアコンのない人は汚染された水を飲むので、抵抗力の弱い子供達は下痢症、コレラ、赤痢、腸チフス等の感染症で死んでしまう。抗生剤や点滴製剤が不足しているのを助けようがない。また手洗いが無いので簡単に感染してしまう。もし、加熱消毒をしても飲料水中のヒ素とフッ素が高濃度に入っていることが多く、水俣病のように神経毒に冒されたり、骨を溶かし、死を招く。アフリカの辺地では水汲みは女性の仕事で10km以上を歩いて、時間をかけて、危険を犯して水を求めているのだそうです。

先日NHKテレビでシルクロードが放映されていました。1000年以上前にはタクラマカン砂漠の真中に河が流れ、交通の要所に街が栄えていたそうですが、その河が砂の中にもぐってしまい、街が廃墟と化し、やがてそれも砂の中に埋もれてしまったそうです。水と環境保全は密接な関係にあることは言うまでもありませんが、今や地球上も徐々に砂漠化が進んでいます。

これらの問題は人類の叡智を集めて考えてゆかねばならない課題ではありますが、今、ロータリアンとして出来ることは何かを考えてみると、1人1人が水問題に関心を持ち、WCSに参加することでしょう。ジンバブエの農村では100ドルで4本の井戸が掘れるそうです。それによって数百人の人達が安全な水が飲めるのです。ステンハマー R I 会長エレクトも次年度の強調事項に取りあげています。

ガバナー日記

3月24日(木) 恵庭RC35周年記念式典

18:00~20:30 恵庭市民会館

式典には恵庭市長黒氏博実様や関係者、市内協力団体を始めスポンサークラブ札幌南RC土谷会長、鎌田幹事、第7グループ大谷ガバナー補佐をはじめ各RCから大勢の会員の皆さんの参加があった。三浦会長から恵庭市に対し記念事業として恵庭駅東口と西口に木製ベンチが贈呈された。また、第30代以降の会長、幹事に感謝状が贈呈された。祝賀会では札幌のアマチュアコーラスグループによる昔なつかしい歌が披露され楽しい一時をすごすことが出来た。

3月26日(土)・27(日) 会長エレクト研修セミナー
札幌ロイヤルホテル



第1日目は午前中参加者の紹介及び塚原ガバナー・エレクトの基調講演でステンハマーRI会長エレクトの次年度テーマ“超我の奉仕”の紹介及び運営方針と地区運営について

詳細が述べられた。午後からはロータリー財団セミナー、米山セミナーが行われ各委員長から委員会の説明があった。最後に米山奨学生、尚爾華さん(札幌医科大博士課程3年・札幌セントラル)が中国少数民族衣装で登場、奨学生になったことでアルバイトの心配もなく学業に専念できること、カウンセラーのお陰で不安なく日本の習慣が理解出来たこと、ロータリーのすばらしさを発見出来たこと等、感謝の気持ちを率直に述べられた。17:00から懇親会で、新旧委員長、RC会長エレクトの皆さん達と情報交換があらこちらで行われ日中の緊張感からやや開放され和やかな友情の場であった。

第2日目地区研修リーダー伊藤長英PGの講演“ロータリーにおける指導力”の中でその必要性について具体的に説明された。その後、グループ別対話会(6テーマで6グループが討議)が行われた。2人ずつガバナー補佐が6グループの進行と報告を担当され、6グループに分かれた各クラブ会長エレクトの皆さんと討議をされた。テーマ

はA:クラブの活性化、B:地域社会の奉仕、C:新世代のロータリー、D:ロータリーの職業奉仕、E:ロータリーの親睦、F:会員増強の必要性であった。各グループとも色々な意見があり、集約は困難であるが次年度のクラブ計画の参考になったのではと思う。

4月2日(土) インターアクト地区委員会

17:00~19:00 札幌ライフオートで行われた。

堀田昌資委員長から1年間の経過報告が行われた。これはその都度、月信に写真入りで記事となっているが関心をお持ちの方のために継続的に事業を記してみる。

8月2日~6日 海外研修旅行 韓国木浦市「共生園」

8月17日~18日 第2800地区(山形県)インターアクトとの交流

8月21日 第1回委員会

9月18日~19日 RYLAジュニアクラス

10月16日~17日 ロータリー第2510地区・地区大会参加

2月13日 第25回札幌国際スキーマラソン

インターアクト年次大会が6月18日~19日、静内で開催される。私も是非参加したかったが100周年国際大会に出席のため断念。第8グループの蘇田又栄ガバナー補佐をお願いをしたい。各クラブのインターアクトの大勢の参加を期待したい。また次年度海外研修については今年と同様韓国を予定している。別室で新世代委員会も行われており、ご挨拶だけさせて頂いた。

4月5日(火) 第12回地区幹事会

18:30~ 地区事務所会議室

1. 地区ガバナーの選出手続きの変更について

2004年度手続要覧によるとガバナー・ノミネーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出しなければならないと変更された。丸山淳士ガバナー・ノミネーを選出して間もないが、その次ぎのノミネーを6月中に選出しなければならず、急いで各クラブから推薦願わねばならず、月信4月号と5月号に“お願い”文を掲載した。

2. 韓国3700地区・地区大会参加人数5名及び100周年記念国際大会地区ツアー参加人数を56名と紹介。

3. 全国骨髓バンク推進連絡協議会から支援・協賛依頼が

No. 26

Date 05. 5. 1

届いたがガバナー会は関知しておらず、ロータリーとの関わりが不明のため各RCには連絡しないこととする。

月日のたつのは早いもので、そろそろ地区要覧編集について打ち合わせを始めた。

4月7日(木)夕方に北九州市内のインターアクトクラブの顧問の先生から当地区ガバナー月信の拙文“新世代月間を祝おう”を読んだがインターアクトクラブの統計の出処を知りたいとお電話を頂戴した。「ロータリーの友」のRI指定記事のエバンストン便りである事をお伝えしたが、他地区のロータリーの関係者とは言え、ロータリアンでない方に私達の月信が読まれていることに大変驚いたし、関心を持たれていることが嬉しかった。

4月9日(土)地区諮問委員会

17:30～札幌グランドホテル

丸山淳士ガバナー・ノミネーが初登場、また久しぶりに伊藤義郎バスター・ガバナーも出席された。事後承諾ではあるが地区ガバナー・ノミネーの選出手段の変更について説明、承認された。これに伴い地区ガバナー指名規定第1条の変更についても承認をいただいた。これは地区大会の決議が必要のため今年の地区大会の決議案に上程することとした。

ガバナー・エレクト塚原さんから国際協議会についてご報告があった。またガバナー会のあり方についてご説明し、示唆に富んだご意見を頂戴した。

4月10日(日)2005～06年度地区協議会 ホストクラブ札幌南RC 9:15～16:10 札幌パークホテル



今年度公式の場でのご挨拶は最後になるので、ガバナーとして各RCの活発な奉仕活動と地区への御協力に感謝を申し上げ、次年度更なる発展を期待することを申し上げた。

塚原ガバナー・エレクトからはカール・ステンハマーRI会長エレクトのテーマ“超我の奉仕”とRIの方針、更に地区の方針が示された。次年度は地区リーダーシッププランを継続しつつも、公式訪問は各RC単位で行われるし、IMも実施されることになった。

地区研修リーダー講演で伊藤長英バスター・ガバナーは「ロータリーにおける指導力」についてロータリーとは何か、ロータリーの指導者として必要なことは何か、ロータリーを好きになろうと具体的に話された。

2004年度規定審議会について次期地区情報・IC委員亀井敏清さんから組織、審議事項等、その在り方について説明があり、規定審議会代表議員、石垣博美バスター・ガバナーからの審議内容について臨場感あふれるお話があった。昼食後は会長部門、幹事部門及び5大奉仕部門に分かれて分科会が行われ、次年度の奉仕活動について熱心に討議が行われた。

最後に「手に手つないで」を合唱し友情を確かめあって閉会となった。

4月14日(木)～4月17日(日)第3700地区大会参加

14:05発KE766便で塚原GE、岩城秀晴100周年記念委員会委員長、矢橋温郎札幌西RC会長の4名で出発した。仁川国際空港で乗り換え、大邱空港に20:00着であった。空港には呂朝淵PG、金昶洙PGや実行委員の皆さんのお出迎えをいただいた。大邱グランドホテルで遅い夕食会を催して頂いた。忙しい中、途中から都ガバナー御夫妻も加わってくださった。

大会は15日14:00からなので8:00～13:00慶州に足を延ばした。観光地としても有名で丁度、桜が満開であり、10km位の桜並木(途中トンネル状になっているところもある)が絶景であった。仏国寺(韓国遺産)を参拝し、すぐ近くにあるコーロンホテルの前庭に20年前に竹山元RI理事、矢橋温郎さん達が植樹された桜を見に行った。当時、建てられた標識はなかったが矢橋さんの記憶や20年前から務めているホテル従業員の証言から確認され安堵した。この数本の桜の木が今年3700地区と姉妹締結をする1つの大きなきっかけとなっている。



1次本会議 14:00 ~ 17:00 グランドホテル

R C会長、幹事、財団委員長会議であり、R I会長代理紹介、並びに来賓紹介、都総裁 挨拶、李興馥 R I 会長代理 挨拶、並びに R I 会長報告があり、奨学文化財団報告や財団表彰が行われた。

2次本会議 17:10 ~ 18:25 グランドホテル

R C会長、幹事会議で前年度決算報告、大会決議文審議等が行われたがこの間、大邱薬令市をのぞきに行ってきた。薬草の香りが町全体にただよっていた。R I 会長代理歓迎晩餐会に招待された。何人も祝杯をあげるのにびっくりしたが、突然私も指名され更に驚いた。我々のテーブルは韓国旗と日本国旗が飾られていた。100名位の和やかな会であった。

第2日目 7:00 ~ 8:00 財団有効者朝食会が行われ、財団寄付者に対する表彰が行われた。

本会議 9:40 ~ 18:00 大邱コンベンションセンター
10人かけの円卓で1,500 ~ 2,000人は入れるかと言う広い会場に満席で行われた。第3700地区は88クラブで3,000人強の会員数だそうだ。各 R C 旗が壇上に登場、これが R C 紹介の代わりにスマートに感じた。来賓紹介では我々4名も紹介された。都総裁挨拶、李 R I 会長代理挨拶、祝辞はテグ市長と私からお祝いを申し上げた。会員遺族に対する表彰、100周年記念特別クラブ功労表彰、シルバー奉仕賞、職業奉仕賞、ロータリアン以外の社会奉仕賞等の表彰が行われチェ・ギンス教授(ソウルの先生で宗教家らしいが臨席のバスター・ガバナーは知らなかった)が愛について講演された様子であったが、身振り、手振り

を見ているだけで飽きなかった。4人共全く韓国語は理解できず、丁度帰省中の米山奨学生李 英愛さんの手助けで今、何が行われているか漠然と理解することが出来た。

午後からは土産でも見物に行こうと思っていたが、バスの運転手もガイドも釜山から派遣されているので観光には精通していてもデパートには道順不案内で、急きょ金 P G 御夫妻が同乗してくださった。咄嗟の判断で、しかも奥様はチョゴリ姿であり身に付いた親切心に敬服した。

17:00からのファッションショーには必ず戻って来るよう指示されて出かけたがお土産は空振りであらうか、小物からテレビ、洗濯機、冷蔵庫等の大物まであり、小さな私は景品代を含めた大会費用が心配になった。

いずれにしても細かい気配りと心温まる歓迎に国際理解と親睦の意義を再確認させられた。





ロータリー 100 周年記念事業特集

2005年2月23日開催 地区一斉祝賀プログラム

前号に引き続き、ロータリー 100周年記念事業特集を掲載いたします。

札幌清田 R C



ロータリー生誕100周年記念例会

2月23日(水)ロータリーの創立100周年を記念して、ルネッサンスホテル3F「美麗華」にて例会を開催し、「ポール・ハリスの生い立ちと信念」【内容~ロータリーの理念をポール・ハリスの生い立ち(少年時代、放浪時代、弁護士時代)を通じて、ロータリーが形成される様を描くロータリー入門書】のビデオを鑑賞致しました。

祝宴では、御祝いということで「桃」のお饅頭を頂き、最後はロータリーの100歳を御祝いして、「HAPPY BIRTHDAY」を斉唱致しました。

白老・苫小牧・苫小牧東・苫小牧北 R C

2005年2月23日 白老に於いて第12グループ国際ロータリー創立100周年記念4RC合同例会を開催し、100名の会員が集まり、皆で祝いました。この例会は企画段階からいろいろな案が出ていました。しかし、この歴史的な誕生100周年CELEBRATE ROTARYの本質を考えた時、今やらなければならない事は友情と親睦を新時代にむけ、更に強くすることであるという結論になり、白老RC会員の皆様に無理をいい、4RCが合同で例会を行うという事になりました。



また、遠藤秀雄ガバナーからのメッセージを皆様に発表し、その後、苫小牧RC板谷会長より「今日の例会は100年に一度しかない特別なものである。最初で最後の例会であり原点にかえり、ひざをつけあわせ仲間と楽しく話し合う炉辺談話のようなあつまりになることを期待します。」と話があり、4RC会員の親睦を更に深めロータリーの原点を再認識致しました。

白老RCの皆様、コーディネートありがとうございました。

ロータリー 100周年記念事業特集

赤平・芦別・砂川・滝川RC

第2グループでは、赤平・芦別・砂川・滝川RC合同の「国際ロータリー100周年記念・第2グループ合同例会」を開催いたしました。

18:20より「グレン・エステス国際ロータリー会長の100周年記念メッセージ」を放映いたしました。18:45より「国際ロータリー2510地区、遠藤秀雄ガバナーのロータリー創立記念メッセージ」を鈴木忠男第2グループガバナー補佐が披露いたしました。

2510地区の第2グループ芦別、滝川、赤平そして砂川の4RC合同例会は毎年順番に開催しておりますが、今年はこのロータリー100周年の2月23日水曜日が砂川RCの例会日と重なるという事で、砂川RCがこの記念すべき祝賀の合同例会を担当させていただきました。

記念例会は砂川RC杉本会長から当日出席の3RCの皆様への歓迎の挨拶に始まり、続いて滝川RCの第2グループ鈴木ガバナー補佐より遠藤秀雄ガバナーの『ロータリー創立記念メッセージ』の代読があり、引き続き同ガバナー補佐の『ロータリー誕生と拡大発展』というテーマで記念講演をいただきました。

講演はシカゴからのロータリー誕生に始まり、日本のRC誕生《1920年10月の東京RC、1922年3月の大阪RC、1932年12月札幌RCの誕生...》、そしてその後第2次世界大戦の波に洗われて国際RCからの脱会、又その後の復帰加盟等の歴史等が紹介されました。講演の後には同ガバナー補佐より次年度のガバナー補佐で当砂川RCの千葉清氏が紹介され、同氏より来年度に向けた力強い抱負を聞かせていただきました。記念式典の最後は千葉ガバナー補佐エレクトより4RCの次年度会長、副会長、幹事の紹介がありそのまま親睦会に移行しビンゴゲーム等楽しみながら、延べ2時間半に及ぶロータリー100周年の記念例会は最高の盛り上げの内に『手に手つないで』の大合唱と共にロータリーの今後一層の発展を誓って散会いたしました。



当別・札幌はまなす・札幌モーニング・札幌北RC

2月23日(水)18:00よりロイトン札幌3Fロイトンホールにて『ロータリー100周年記念4RC合同例会』(札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌はまなすRC、当別RC)

記念講演として、山中燐子先生による「激動の国際社会 日本に今問われる独自外交」と題して、お話を頂きました。記念懇親会では4RC会長によるくす玉割が行われ、ジャズ演奏を楽しみながら会食し、4RCの親睦を深めました。



 ローターリー 100周年記念事業特集

岩見沢東 R C

《スリランカに基金を》

スリランカ子ども基金北海道

岩見沢東 R C (渡辺博人会長) では R I 創立 100 周年記念事業として、スリランカに教育支援のための基金を設置することにした。

田巻敏行国際奉仕委員長兼 100 周年記念事業委員長は記念事業としてまずは、途上国への援助が優先されるべきと考えた。そこへ地球的規模の大災害、スマトラ沖地震があった。そこで、自分たちに何かできることはないかと考え、坂田知樹 100 周年記念事業副委員長と話し合い、スリランカに精通している札幌北 R C の小林博パストガバナーにアドバイスをいただいた。その結果、スリランカの子供達の教育支援をしてはどうかということになった。

当初、田巻委員長は、子供達のために学校を建ててはどうかとも考えたが、それでは後々の維持や管理が難しいことに気づいた。そこで、もしスリランカで教育のための基金を創設するなら、その利息で子供達を支援することができる。むしろそれをするべきではないか...、ということになった。小林パストガバナーは、その後、直接スリランカに渡って現状を視察している。

岩見沢東 R C としても、まさにこの活動こそ 100 周年記念事業にふさわしいとの結論に達し、いよいよこの計画を実行に移すこととなった。基金は、岩見沢東 R C と札幌北 R C 有志の寄付金 (およそ 150 万円) を原資とし基金を創設する。この基金は、今後増額することを念頭にいれ、毎年 1 回 - 定額利息を引き出し、スリランカの子供達の教育支援に無償で贈与される。受給対象の子供や施設の選考、ならびに金額の決定はスリランカと日本のロータリアン・国際協力機構 (J I C A) 関係者などで構成される委員会によってなされる。



R I 3700地区大会出席報告



100周年記念委員会

委員長 岩城秀晴（札幌南PG）

出席者	ガバナー	遠藤 秀雄
	ガバナー・エレクト	塚原 房樹
	100周年記念委員長	岩城 秀晴
	札幌西RC会長	矢橋 温郎

私ども4名は、昨年10月16日に実施され当2510地区大会において姉妹地区として承認されました、第3700地区の地区大会に御招待を受けて去る4月15日、16日に出席致しました。韓国は気候が温暖で札幌市とは気温のうえでも既に春でした。仁川空港経由でデグ空港に行ったのですが14日(木)の夜8時でしたが、第3700地区の役員の方達の暖い出迎えを受けて、感激と感謝を申し上げました。翌日は午後2時からの開会でしたので慶州の桜の樹を見に4名で行きました。その理由は去る20年位前にローターアクトが韓国と交流したことがあってその時に2510地区竹山ガバナーと矢橋さんとが慶州の地に記念として植樹をしたことがあって、この植樹場所の桜の樹を再確認をすることも一つの韓国を訪れた目的でもあったのです。その縁から私ども4名は現在の桜の樹を確認すると同時に今後とも元気で育ってほしいことを祈念致しました。

午後2時からの会長、幹事会そして午後7時からR I 会長代理晩餐会が開催されまして、第2510地区からの私どもも紹介されて盛會に終了致しました。翌16日(土)は7時から朝食会に出席し、その会場で表彰等も行われました。本会議は9時40分からセ

レモニーが始まりましたが、地区内88クラブの会長、幹事がクラブの旗を持って音楽を交えて紹介されて舞台を行進して大いに会合は盛り上げて参りましてその素晴らしさに魅了致しました。また姉妹地区の紹介もあり遠藤秀雄ガバナーからの御挨拶をする機会を与えて戴きましたので通訳に米山奨学生の李さんが仕事をされてその役割を果たして下さいましたので、本当に心から感謝を致す次第です。

さてガバナーは演台に立ち次のように講演されました。以下その内容は、「国際ロータリー100周年の記念すべき年に第3700地区と第2510地区の姉妹地区としての友情交換が結ばれたことを、意義深く、大変嬉しく存じます。2004年10月16～17日に第2510地区年次大会の開催に当り、第3700地区総裁、ド・ジェウク様、令夫人キム・ヨンヒ様はじめ11名の地区役員の皆様の臨席を戴き、無事に姉妹地区締結調印することが出来たことは御同慶のいたりであります。聞き及ぶところによりますと、1983 - 84年R I 理事、竹山さんがガバナーの時に貴地区と当時ローターアクト委員長の矢橋温郎さんとの話し合いでローターアクト交換をされていたこと、エゾ山桜を植樹されたことから20年に及ぶお互いの交流友情が続いたことが姉妹地区という実を結んだと思います。近年、国際ロータリーにあってもGSE、国際親善奨学生、交換留学生等、教育的なプログラムばかりでなく、ポリオ・プラス、識字率向上、保健問題、水保全等、国際協調による幅広い奉仕活動が求められています。これらの奉

仕活動の実践には国と国との理解とロータリアン同志の友情が不可欠であると思います。今長引く経済低迷の中であって、両地区が今後共に固い絆で結ばれて行く方法を考えてゆかねばならないと思います。今回の第3700地区の地区大会にご招待を頂き有難うございました。私達4名は喜んで参加させて頂きました。RI会長代理イ・フンボク様御夫妻のご臨席のもと総裁ド・ジェウク様をはじめご参加の皆様による地区大会が盛大に成功裡に終了することをお祈り致します。有難うございました。」

と講演され、場内からの拍手により終了致しました。今、韓国と日本とは領土の問題でギスギスしておりますが、ロータリーには友情と友情との結びつきによって成り立っているものであり、その結びつきには政治的は不介入によっているものであることが、この地区大会に出席したことによって証明されたことを御報告とします。

出席するまでは何か不安を抱いておりましたが、帰途に着いた私どもの顔には晴々とした、明るい表情になって千歳に無事帰国致しました。



**2004-2005
Rotary International
District 2510**

国際ロータリー2510地区 2004-2005年度ガバナーエレクト

遠藤 秀雄

F 059-0334
北海道釧路市曙町1丁目31-1 医療法人社団医会 毒聖病院2F
TEL(0143)82-2510 FAX(0143)82-2512
e-mail: keidai.hp.rc@tntn.ocn.ne.jp

国際ロータリー第3700地区

総裁 都 載旭 様

今回の第3700地区年次大会の参加に際し、大変心暖まるご接待を頂き誠に有難うございました。言葉が多少不自由でもお互いに触れあうことが出来ましたことが嬉しい思い出となりました。国際交流の視点からも継続をしていきたいと思ひます。

地区大会の運営も非常に素晴らしく意義深い大会であったと思ひます。ご準備に大変ご苦労があったと思ひますが、御成功、おめでとうございます。これからの貴地区の益々のご発展をお祈りいたします。

金玲希令夫人をはじめバスター・ガバナーの皆様及び会員の皆様に宜しくお伝え下さいますよう、お願い申し上げます。

2005年4月19日

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤秀雄



次年度タイ3350地区へ派遣するGSEメンバーが決まりました

チームリーダー



氏 名：土橋 信男
性 別：男
年 齢：68歳
婚 姻：既婚
職 業：大学教員
最終学歴：国際基督教大学、同大学院、シラ
キウス大学大学院
所属RC：札幌南RC

自己紹介：中国で生まれ、戦後引き揚げて山梨で育ち、東京の大学を卒業後米国の大学院で大学行政学の博士号を取得した後、札幌の北星学園大学へ就職。教職課程（教員養成）の担当者として同大学で助教授、教授として25年務めました。教職課程の役割以外には、国際交流委員会が主たるものでした。同委員会に17年所属し、委員長を15

年間務めていました。そして、最後の7年は学長の責任を負いました。同大学を退職後、札幌市教育長を1年3ヶ月務めました。そして今は函館大学、桜美林大学で教授をしています。

ロータリーには札幌南RCに1994年に入会、主たるロータリー活動は、地区では国際親善奨学金委員会で、同委員会に6年所属した後、GSE委員になりました。

この度、GSE派遣チームのリーダーに委嘱されましたが、幸いにして、優れたチームメンバーを選考していただいたので、力を合わせて事前の研修をして責任を果たしたいと思っています。

タイには一度訪問をしたのですが、米国の大学院時代に共に学んだ友人があり、親しみを感じている国です。また、昨年、今回訪問する予定の3350地区のGSEチームを受け入れお世話をしましたので、そのメンバーにタイで再会するのが楽しみです。



氏 名：田畑 美保
性 別：女
年 齢：35歳
婚 姻：未婚
職 業：准看護師
最終学歴：小樽市医師会看護専修学校
推薦RC：札幌北RC

自己紹介：看護師になり11年になりました。またICUで働くようになってから9年が経ちました。いつの間にか異国での生活や文化、また異国の看護師の仕事にも興味を持つようになり、海外旅行を楽しみながら、時折病院や医療施設を見学する経験をしてきました。そのうちに、それだけでは満足できずに数年前に思いきってオーストラリアに行き、英語を学び、医療施設で研修を受ける機会を与えられ、忘れられないような素晴らしい経験をしました。そのことが今でも忘れられず、同じような経験がまた出来ないだろうかと願っていました。

今回、RCでグループ交換研修というプログラムがあるということを知り、応募したところメンバーに選ばれ非常に喜んでます。

今までの経験を踏まえて、この与えられた機会を有効に生かしたいと思います。これから一年の研修を経てタイを訪問することになるのですが、きっと多くの新しい学びや経験がある事と思います。他の3人のメンバーと協力しあい喜びや悩みなども分かち合いたいと思います。



氏 名：後藤 敦
性 別：男
年 齢：32歳
婚 姻：既婚
職 業：財務（経理部所属）
最終学歴：北海道大学大学院工学研究科
推薦RC：札幌西RC

自己紹介：農業の道を目指して北海道にきた。学生時代に「よさこいソーラン」、「妻」という運命的な“出会い”があった。

最北の地を目指した農業の道から外れ、事業・イベントの仕事がしたくて、北海道新聞社に就職。

入社後、事業の道からかなり外れ、購買部門・印刷部門を経て経理部に在籍中。

今回のGSEプログラムが、私に更なる“出会い”のチャンスを与えてくれた。この経験が、今感じている不安を取り除き、私の人生をきっと豊かに、確かな自信になってくれると期待している。



氏 名：中内 健太
性 別：男
年 齢：24歳（今年誕生日で25歳）
婚 姻：未婚
職 業：臨床検査技師
最終学歴：北海道立衛生学院
推薦RC：札幌清田RC



氏 名：高倉美穂子
性 別：女
年 齢：29歳
婚 姻：未婚
職 業：介護員
最終学歴：道都大学
推薦RC：上磯RC

地区委員会

活動報告

家庭奉仕について思う



家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三(札幌幌南)

家庭は最小単位の社会であることについて、今回は考えてみたいと思います。

(家庭も社会と同じ営みが行われている)

家庭は、愛情で支えられている関係であって、他人によって構成される社会とは異なる側面があることは事実でしょう。

しかし、会話から始まって、挨拶などの礼儀作法や衣食住の習慣、役割の存在や共同作業、決まりごとや一定のルールがあることなど全ての面で社会と共通する営みが日々家庭で行われています。

どちらが鶏でどちらが卵かとの議論は別にして、家庭でも社会と同じ営みを行っている事は疑いの無い事実です。

その家庭内における人間関係が、最近の国際的な比較によると我国の場合は極めて異常な事態にあるといえるのですから、社会においても同様な関係が認められるのではないのでしょうか。

(国際比較から見た親子の関係)

日本青少年研究所が各国の2,000名の高校生を対象として行った意識調査の結果。

1996年 貴方は、自分の力で生きることが出来なくなった年離れた両親に最善を尽くして看護しますか?の問いに対して「はい」と答えた割合
中国66%、米国46%、日本16%

1998年 貴方は貴方の両親を非常に尊敬していますか?の問いに対して、「はい」と答えた割合
韓国55%、米国80%、日本10%

2002年 自分で自分のことを駄目な人間であると思う事があるか?の問いに対し、「ある」と答えた割合

中国38%、米国46%、日本73%

自分には何一つ誇れる事は無いと思うかの問いに対し、「思う」と答えた割合

中国23%、米国46%、日本53%

自分で立てた計画を自分で実行する自信はありますか?の問いに対し、「ある」と答えた割合

中国73%、米国86%、日本38%

2003年 多くの国の中高生を対象としたアンケート
貴方は、自分の両親の下に生まれて非常に満足していますか?の問いに対し、「はい」と答えた割合

大半の国は、80%以上、50%以下の国は無い。日本だけは、25%

2002年 11月2日の道新の卓上四季に東洋大学の
中里至生教授が、中高生とその両親を対象に
日本3,400人、米国1,000人、トルコ1,400
人からアンケート調査した結果。

子供が相談してくるかとの問いに対し、「来る」と答えた割合

米国、トルコの父母共に90%以上、日本父親17%、母親22%に過ぎない。

他人を思いやる大切さを大いに教えていると答えた日本の親は、32%、米国、トルコの親の半分以下であった。

というものであり、日本の家庭が、如何に親子の自然な情愛に欠け、家庭に於ける躾や情操教育などの役割を果たしていないかを示しています。

(原因について)

最大の原因は、家庭の核である夫婦に、協力し合っ
て家庭生活を営むという意識が乏しい処にあるのでは
ないでしょうか。即ち夫婦間に愛情に満ちた良好な関
係が維持されていないからだと思います。

IT革命などのハイテク化の波が日常生活の隅々ま
で及びその進行度合が速すぎて親が子から学ぶという
逆転現象が認められ親の教育力が減少していること。

少子化の中で近所や家族に同世代の子供が少なく
なり、子供同士が交わりの中で社会性を身につける機
会が少なくなったこと。

過激化する受験競争に勝ち抜くために子供が塾や習
い事などに追われ、放課後の大切な自由時間を奪わ
れていること。

競争社会に飲み込まれて、家庭でも学校でも又地域
でも子供の心の成長を疎かにしたこと。

といった子育てには厳しい環境があることも事実で
すが、だからこそ現在の子育て世代には一段と両親の
愛情に満ちた子育てへの努力が必要であるといえるの
ではないでしょうか。その努力を怠った結果が統計上
の不名誉な数値に現れているのです。

(家庭は社会の鏡)

子育てが上手に出来ていない家庭は、愛情に満ちた
良好な関係が維持されていないということですから、
社会にとっても有用な様々な技術 人を思いや
る。対等に会話する。協調し合いながら何かを成し遂
げる。人から学び合う。目上の人と上手につき合う。
障害を克服したり紛争を上手に解決する等と言った能
力を日々家庭で学ぶ事が出来ていないという証拠では
ないでしょうか。

我国の将来を見据えた時、このような家庭環境がも
たらす悪影響は無視し得ないものでしょう。

特に国際競争力が問われている21世紀の時代に、
我国だけが他国に比して望ましくない家庭が異常に多
いということは、単に個々の家庭内の問題では済ま
されない事態ではないかと思われます。

ロータリーの進化の歴史について、ロータリーの友
の日本版編集長の二神さんが平成16年9月号で、ロー

タリーは先ずロータリアン個々人の相互扶助の精神か
ら始まって、市民としての義務を果たすことから個人
生活、事業生活、社会生活(人類や隣人などの他者へ
の)(括弧は、私が解釈した)に常に奉仕の理想を適
用するところまで発展したことを資料に基づき解説
していますが、更にその先に足元にある家庭へ奉仕の
理想を適用することがあっても良いのではないでしょ
うか。

本年度は、残り少なくなりましたが、今一度、家庭
奉仕活動を意識した活動に取り組んでいただけるよ
う呼びかけたいと思います。

第3回家庭奉仕委員会報告

家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三(札幌幌南)

4月9日第3回家庭奉仕委員会を開催しました。

家庭奉仕に関するマニュアル作成の進行状況の確認
及びその内容についての最終的な詰めを行いました。

内容的には、健康な家庭を対象とする家庭奉仕に関
する活動であると意義付ける。

構成は、以下の通りにする。

連休明けまでに総ての原稿を集めて、2週間程度か
けて編集作業をして最終的に6月4日の委員会で点検
して年度内に発行する。ということになりました。(参
加委員 小林博PG、大場公孝(上磯)松本純枝(深
川)高下泰三(札幌西)大田すみ子(札幌北)長谷川
美栄子(札幌大通)和田壬三(札幌幌南))

家庭奉仕実践の手引き(第1版)

目次

本手引き作成にあたって

国際ロータリー第2510地区

2004-05年度ガバナー 遠藤 秀雄

第1編

家庭奉仕とは何ぞや。

同2002-03年度ガバナー 小林 博

第2編

当地区内の家庭奉仕活動

1. 02 - 03年度 第4、第5グループIM

和田 壬三

講演とシンポジウム「慈愛の種を家庭から」

2. 同 ワークショップ

大場 公孝

「私のしている家庭奉仕、私のなすべき家庭奉仕」

3. 03 - 04年度 市民集会

今親として子として「心をつなぐコミュニケーション」

松原 富郎(江差)

北9条小学校「家庭って何だ!？」

小林 博PG

4. フォーラムの紹介

札幌北RC

小林 博PG

深川RC

松本 純枝

5. 4RC合同例会

高下 泰三

「家庭奉仕って?フォーラム」

6. インフォーマルミーティング

佐々木 敦(札幌真駒内)

第3編

一、企画内容

1. 家庭奉仕について会員同士で語り合う会

テーマの提案

大田すみ子

持続的にする必要性

和田 壬三

2. 読後感学会

長谷川美栄子

ふさわしい本の紹介

小林 博PG

3. ビデオ、テープの活用

和田 壬三

4. 講師の紹介

佐々木正美 大場 公孝

土橋 芳美 松本 純枝

池上 公介 和田 壬三

工藤左千夫 "

長尾 靖友 "

二、資金

1. 地区資金の活用

伏木 忠了(札幌西)

2. 資金集め

和田 壬三

三、参加者の募集

水野 正純、和田 壬三

滝川RCより救急車が届きました



世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤 修弥(室蘭)

1. 滝川RCよりタイ、ノンカイRCへの中古救急車寄贈が無事終了し、ノンカイRCキテイ会長からお礼のメールと写真が送られて来ましたので報告します。当委員会としては本事業の検証も含め、その後の利用状況についても調査するべく、今秋ノンカイRCを訪問する予定です。



2. 「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ、未使用テレカ回収運動に再びご協力を。

去る3月28日未明、インドネシアのスマトラ沖で再びマグニチュード8.7の大きな地震が発生し、特に震源地近くのニアス島では島全体に壊滅的被害が発生しています。世界各地から全面的かつ緊急の援助が必要な状況が発生していますので、再び「書

き損じハガキ、未使用テレカ回収運動」に全面的なご協力を宜しくお願い申し上げます。尚、今回の締め切りは6月30日迄といたします。

送り先

〒051 - 0011

室蘭市中央町2 - 7 - 17

斎藤外科医院内 地区世界社会奉仕委員会

TEL 0143 - 23 - 1411

FAX 0143 - 24 - 3599

国際奉仕委員会報告



国際奉仕委員会

委員長 橋本 信夫(札幌西)

1 4月10日の地区協議会で斎藤WCS委員長が次年度に向けた活動計画を発表されます。WCS委員会による書き損じはがき回収事業の成果が月信に掲載されました。

この事業は年度末まで継続することになっています。各位におかれてまして更なるPRと回収努力をお願いいたします。

2 地区補助金委員会の伏木委員長がスリランカに赴かれ、スマトラ沖震災の被害状況を視察するとともに、佐藤PG年度のWCS事業としてスリランカで実施されたベッドと自転車供与状況を現地で確認されました。

特に自転車の通関問題は関係筋との折衝で無事解決したとのこと。伏木委員長のご努力に感謝です。

3 千歳RCによって保管されている残りの自転車について早急に供与先を見つけなければなりません。

これまで供与先の一つとして交渉してきたフィリピン、マカテウエスト地区パラワン島のパラワン

RCが遠隔地なための確な情報が得難く、そのままに経過しています。災害地なども対象にして、もっと手広く供与先を探す必要がありそうです。

手がかりやアイデアがあればご連絡ください。

4 登別の地区大会の壇上で調印された韓国3700地区との姉妹提携プログラムの一環として、韓国テグ市で4月15日・16日に開催されるRI3700地区大会に当地区から遠藤ガバナーはじめ大勢が参加されます。日韓関係の微妙な今こそ最もロータリーの友好親善努力が必要と思われま。

5 両地区にとって実り多い親善大会でありますよう祈念いたします。

昨年7月、台湾RI3480地区台北北新RCからクラブ間友情交流の斡旋を要請され、各RCに紹介いたしました。

先週 札幌商工会議所を介して北海道台湾貿易協会より再度同RCと同規模のRCとの親善交流について依頼がありました。

名称：台北北新扶輪社

会長：王友増氏

設立：2002年5月

会員数：約30名

事務所：台北市中山北路2段26巷15号3F

TEL：(886)2-25813019

FAX：(886)2-25813286

お心当たりのRCがありましたらご連絡下さい。よろしく願いいたします。

クラブ活動 紹介

栗山 R C 創立35周年を迎えて

栗山 R C 会長 太田 ヒロ子

栗山 R C の創立総会は、昭和45年1月16日金曜日午後5時より栗山産業会館において、国際ロータリー第350地区ガバナー秋山康之助氏、ガバナー・ノミニ河野通正氏の臨席を得て、更に栗沢 R C 会員15名、岩見沢 R C 会員25名の参加を得て、立川一雄特別代表の点鐘により、厳粛且つ盛大に創立総会が行われた。〔創立会員35名〕80名の参加者〕第1回例会は栗山 R C 創立総会の終了後、場所を変え(午後7時30分より)当日早速例会を開催した。参加者は栗山 R C 創立会員35名、スポンサークラブである岩見沢 R C 会員25名、近隣 R C である栗沢 R C 会15名の大勢であった。

栗山 R C の設立の経緯は「栗山 R C 創立20周年記念誌」によれば、...岩見沢 R C にとって最も懸案事項であった栗山 R C 結成が昭和33～45年の13年間に亘る努力により、ようやく実を結んだわけであります。その間特別代表を務められた4人(鎌田巖特別代表、橋本安太郎特別代表、牧進特別代表、立川一雄特別代表)の方々に誠にご苦勞をおかけしたのであります。

例えば結成の榮譽を得た立川特別代表の記録を拝見すると、栗山 R C 結成のために、栗山町を訪問或いは会合を開催する等が昭和43年から翌年昭和44年6月までに20回、引き続き昭和44年から創立総会までに27回という驚異的な数字に達している。誰も知らな

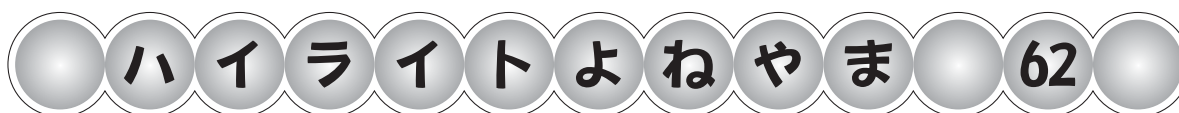
かった、立川特別代表のかかる初一念を貫く執念と努力が結成へ結びついたのではなからうか。兎に角めでたい窮みである。...とあります。

昭和38年頃に何を勘違いしたものが、札幌ライオンズクラブより創立年月日の入った点鐘とライオンズ旗が栗山商工会議所に届くというハプニングもあり、栗山の方も様々な意見があったようです。栗山も意見を集約し、スポンサークラブの岩見沢 R C の13年にわたる格別のご尽力により創立のはこびになったと思います。創立35周年を迎えて創立時の先輩の思いを新たに、栗山 R C の将来を考える機会としたいと思います。

(文責 35周年実行委員会副幹事 今井 敏明)



(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年4月11日発行



1. 寄付金速報 ~あと残り3カ月を切って

3月までの寄付金は、前年同期と比べ3.45%減、約4千3百万円の減少でした。普通寄付金が1.7%減、特別寄付金が4.4%減です。「2004 - 05年度 普通寄付金送金のお願い」を3月25日付で、約130のRC会長宛にお送りしました。普通寄付金をまだご送金されていないクラブは早急にお送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 第2回 寄付金増進タスクフォース報告

3月9日(水)に第2回寄付金増進タスクフォースが開催され、普通寄付・特別寄付の具体的な増進方策案について話し合われました。協議では、「最も重要なことは米山奨学事業を理解してもらうこと」という意見で一致し、米山奨学生を知ることで、事業についての理解が促進されるよう、奨学生の卓話の推進や、大学から離れた地域のクラブにも奨学生を短期間お世話いただくCO-HOST制度(世話“子”クラブ、ホームステイ制度)の実施などが提案されました。これらの意見は、3月23日(水)開催の常務理事会で報告されました。なお、このタスクフォースは今回をもって終了となります。ご協力いただいた理事・委員の皆さまに心より御礼申し上げます。

3. 米山奨学金の減額について

かねてお知らせしていたとおり、2005年4月支給分から奨学金が減額(*)となりました。昨年からの継続奨学生に支給の際は特にご注意ください。なお昨年9月中旬に、継続奨学生の世話クラブ宛に継続奨学生とカウンセラーへの通知を発送しております。

(*) YD(博士) YM(修士) CY(クラブ米山) 月額15万円 14万円へ変更
YU(学部) SY-1(特別米山) 月額12万円 10万円へ変更

4. 2005学年度: 802名の米山奨学生が決定(2005年4月8日現在)

米山奨学金の全プログラムの採用数が決定しました。今年度の合格者と、昨年からの継続奨学生を合わせた802名(休学延長者3名を含む)が2005学年度の米山奨学生です。

新規奨学生の世話RC・カウンセラーもほぼ決定し、5月には各地区で奨学生を対象としたオリエンテーションが開催されます。その席上で確約書に署名をして、はじめて正式な米山奨学生となります。

米山奨学生 741名(新規 490名、継続 251名)
クラブ米山奨学生 44名 特別米山奨学生 14名 休学延長者 3名
計 802名 *2005年4月8日現在

5. 米山奨学生の博士号取得状況

卒業のシーズンになり、奨学生や学友から博士号取得の報告が続々と届いています。この3月に博士号を取得したのは44名(4月8日現在)。その内、最も多いのが医学・歯学系の11名、続いて工学系が10名となっています。毎年100名前後の報告がありますが、報告を忘れてしまう奨学生もいます。博士の学位取得者には、米山奨学会よりお祝いの時計をお送りしていますので、世話クラブ・カウンセラーの皆様からも、ぜひご報告くださいますようお願い申し上げます。

6. ネパールに女性の職業訓練所を開設した米山学友アルチャナ・シュレスタさん

～現地RCとのツインクラブ締結を機に、世話クラブを含めた5クラブが支援を決定【第2630地区（岐阜県・三重県）】～

ネパール出身の米山学友、アルチャナ・シュレスタさん【2001-02 / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿西RC】は、大学卒業後に帰国し、女性の地位向上のための職業訓練所を開設しました。「ルーザー（日の出）・トレーニングセンター」と名づけたこの訓練所では、手に職をつけて自立を目指す多くの女性が、ミシンの縫製や刺繍、美容・理容技術を習得しています。

今なお社会に厳然とカースト制度の残るネパールでは、最も自立を必要とするカースト下層の女性は、貧しさ故に授業料が払えず、入所の希望が叶いません。そのためアルチャナさんは、バタン市のラリトプール・RCを通じて、このような女性たちが無償で学べるための支援を、彼女の学んだ地である鈴鹿に求めました。

この要請に応じて、第2630地区（岐阜県・三重県）の鈴鹿・鈴鹿西・鈴鹿ベイ・鈴鹿シテイ・亀山の5RCは各々が、土井賢一ガバナー補佐の提唱で、ロータリー100年記念ツインクラブの締結を期し、「ルーザー職業訓練所の支援事業」を計画しました。3月27日、ラリトプール・RCのB.Kシュレスタ会長も来日してツインクラブ締結調印式が行われ、日本側から向こう3年間継続し、合計140万円の支援が約束されました。



ルーザー・トレーニングセンターでの縫製訓練の様子

.....
アルチャナ・シュレスタさんの談話：

「ネパールの女性の地位向上のために役立ちたい、これは私が日本留学を通じて得た夢です。留学中お世話になったいろいろな方に、『帰国したら人のために役立つことをするんだよ』と励まされ、いつしかそれが私自身の夢になりました。帰国後のニーズ調査で、ミシンによる縫製を仕事にしたいという希望が最も多いことが分かりました。また、少ない資本で開業でき、収入もよい美容師・理容師もそれに次ぐ人気でした。そこで、自立を目指す女性にこれらの技術を習得させる職業訓練所を開設したのです。日本語の通訳・翻訳業、そして日本語教師としての収入のほぼすべてをつぎ込んで、ルーザー・トレーニングセンターを開所することに親兄弟さえも反対しましたが、私は迷いませんでした。いろいろな困難を乗り越えてここまでやってきましたが、今回、世話RCの鈴鹿西RCをはじめ、鈴鹿・亀山の5RCからの温かいご支援をいただけることになり、本当に感謝しています。これから、いろいろなトレーニングを行って、女性の活動の場を広げていきたいと考えています。」



笑顔で抱負を語るアルチャナ・シュレスタさん

.....
世話クラブ：鈴鹿西RCの松本裕夫氏の談話：

「アルチャナさんは、米山奨学生当時から日本のコミュニティーに溶け込み、その人柄で周囲の人から非常に愛されていました。私たちも、当時から彼女の夢を聞いていましたので、クラブとしても彼女を応援したいという機運が自然に高まったのだと思います。ロータリー100周年、そして当クラブの創立20周年にあたる今年、ラリトプールRCとのツインクラブ締結調印が整いましたので、同クラブと協力し、第2630地区世界社会奉仕資金の協力も頂き、5RCとして彼女の素晴らしい活動をサポートできることを嬉しく思います。」

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯^{みね}・野津^{のづ}・大庭^{おおば}
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

親睦活動委員会ニュース

第15回 J G F R北海道記念大会のご案内

開催日時：平成17年6月27日（月）
大会会場：苫小牧カントリー倶楽部 ブルックスコース
参加資格：全国のロータリアン並びに配偶者
（記念大会につき特別ゲストとして家族、友人の参加歓迎）
競技方法：18ホールストロークプレイ（新ペリア方式）
（スタート時間、組合せ等は後日参加者各位に送付）
参加登録費：お一人様 25,000円（プレイ代金を含む）

参加お申し込みは5月20日（金）までに下記事務局宛にお申し込みください。

（株）JALトラベル北海道 第2営業部第4GRP
J G F R北海道記念大会事務局
TEL 011-200-2504 FAX 011-200-2517

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別RC	野村 昌人	会員	3月2日
小樽南RC	北野 明宣	会員	3月8日
岩見沢RC	本間 純	会員	3月11日
札幌西北RC	小川 真治	会員	3月18日
札幌幌南RC	増山三雅男	会員	3月18日
札幌幌南RC	山名 善久	会員	3月18日
札幌RC	松本 脩三	会員	3月25日
札幌RC	塚本 勲	会員	3月25日

札幌RC	市川 唯行	会員	3月25日
浦河RC	蘇田 又栄	会員	3月25日

ポール・ハリス・フェロー

札幌RC	鉄井 勝之	会員	3月25日
小樽南RC	高橋 哲夫	会員	3月11日
小樽南RC	村田 達哉	会員	3月11日
余市RC	目黒 幸隆	会員	3月4日
余市RC	中島 恒子	会員	3月4日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

留萌RC	澤田 茂	会員	3月9日 (2)
札幌はまなすRC	光川 眞量	会員	3月2日 (3)
札幌幌南RC	田澤 泰明	会員	3月28日 (1)
札幌幌南RC	内田 豊	会員	3月28日 (1)
岩内RC	木下 正義	会員	3月30日 (1)
小樽南RC	成瀬 桜男	会員	3月11日 (1)
余市RC	目黒 幸隆	会員	3月3日 (1)

余市RC	谷川 淑郎	会員	3月3日 (6)
函館北RC	小笠原 孝	会員	3月9日 (9)

米山功労クラブ

函館RC	3月10日
------	-------

米山功労法人

函館RC	(医)尚仁会竹田病院	3月10日
------	------------	-------



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新会員のための手引書

- | | |
|--|---|
| 「新会員へのオリエンテーション」 D.2650 2004 25p
[申込先: 洲上勝夫 FAX(0779) 87-2560] | 「英国のロータリー 米国のロータリー 日本のロータリー」
入江直祐 1981 8p (D.257地区大会特別講演) |
| 「今さら人に聞けない...ロータリー情報マニュアル」
D.2650 2004 42p
[申込先: 洲上勝夫 FAX(0779) 87-2560] | 「世界理解を強調する月間に思う」松宮 剛 2005 3p
(D.2780月信) |
| 「ロータリーについて(新入会員懇話会教材)」豊田R.C.
2004 41p
[申込先: 豊田R.C. FAX(0565) 32-5559] | 「ロータリーを生成発展させたもの」
中山義之 2005 1p (D.2590月信)
[上記申込先: ロータリー文庫(コピー)] |
| 「ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年
(その1～3)」 D.2660 2004 15p(D.2660月信) | |

2007～2008年度 ガバナー・ノミネー候補者 推薦のお願い

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 遠藤 秀雄
次期地区ガバナー指名委員会
委員長 岩城 秀晴

2007～2008年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区クラブは6月15日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもって推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1頁～6頁及び第8節の資格条件に適していることを要します。

ガバナー・ノミネーの 選出手続きの変更

「手続き要覧2004年」のR I細則第13条 ガバナーの指名と選挙【R I細則13.010.ガバナー・ノミネーの選出】によると、「地区はノミネーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出するものとする」とあります。

つまり、R I第2510地区においても、2005年6月30日までにガバナー・ノミネーの選出を行わなければなりません。

掲 示 板

例会の変更について

岩見沢 R C

5月3日(火) 法定休日のため休会

白老 R C

5月3日(火) 法定休日のため休会

5月10日(火) 夜間移動例会・家族例会「観桜会(雨天
決行) 18:00~ 於:白老八幡神社

5月17日(火) 移動例会「桜の苗木」記念植樹(雨天決行)
12:30~ 於:禅照寺(白老町竹浦)

苫小牧北 R C

5月3日(火) 法定休日のため休会

5月17日(火) 移動家族例会「肉まんづくり」 12:30~
於:中華料理屋 三匠

余市 R C

5月4日(水) 法定休日のため休会

5月11日(水) 例会場・例会時刻変更 18:30~
於:ホテル水明閣内リバーハウス

5月18日(水) 例会場変更 12:30~ 於:ホテル水明閣

5月25日(水) 例会場変更 12:30~
於:余市経済センター

室蘭東 R C

5月4日(水) 法定休日のため休会

5月25日(水) 夜間例会 18:30~ 於:蓬峽殿

岩見沢 R C

5月6日(金) 休会*

苫小牧東 R C

5月5日(木) 法定休日のため休会

5月12日(木) 夜間移動例会 18:00~ 於:鳥市

5月26日(木) 夜間例会~クラブ協議会~ 18:00~
於:グランドホテルニュー王子

江別 R C

5月5日(木) 法定休日のため休会

5月12日(木) 夜間移動例会 観桜例会 18:30~
於:レストラン原始林(原始林ポウル)

札幌大通公園 R C

5月23日(第4週)より、毎月第4週の月曜日は、例
会開始時間を午後6時45分に変更を決定しましたので、
ここに報告させていただきます。

芦別 R C

次年度2005年7月より新例会日 毎週木曜日に変更
になります。(旧例会日は毎週金曜日でした。)

注)*定款第5条第1節に基づく休会

ガバナー事務所からのお知らせ

4月29日(金)~5月5日(木)まで休ませて頂きます。
よろしくお願いいたします。

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、
所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場
合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1
~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

3月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			04.7.1	05.3.31	増減内	内女性		
1	深 川	4	40	39	- 1	1	86.11	
	羽 幌	4	47	47	0	1	73.81	
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	85.00	
	小 平	4	14	14	0	0	78.57	
	留 萌	4	59	53	- 6	0	86.31	
小 計			170	163	- 7	2	81.96	
2	赤 平	4	34	35	1	22	84.13	
	芦 別	4	54	50	- 4	0	88.06	
	砂 川	4	54	51	- 3	0	100.00	
	滝 川	5	109	109	0	2	74.00	
小 計			251	245	- 6	4	86.55	
3	美 唄	4	42	43	1	0	92.28	
	江 別	5	43	39	- 4	1	86.87	
	江 別 西	4	37	36	- 1	3	84.72	
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	89.95	
	岩 見 沢 東	4	37	38	1	3	78.48	
	栗 沢	4	26	24	- 2	1	91.66	
	栗 山	4	29	30	1	2	94.58	
	当 別	4	38	38	0	0	82.05	
	小 計			346	344	- 2	10	87.57
	4	札 幌	4	123	124	1	0	98.48
札幌あけぼの		4	16	16	0	1	100.00	
札幌はまなす		4	24	23	- 1	4	80.68	
札 幌 北		3	49	45	- 4	5	94.31	
札幌モーニング		4	54	56	2	0	73.35	
札 幌 西		4	69	73	4	3	90.62	
札 幌 西 北		4	48	50	2	2	89.87	
札 幌 手 稲		3	39	43	4	1	99.22	
小 計			422	430	8	16	92.26	
5	札 幌 東	4	125	124	- 1	0	98.25	
	札 幌 清 田	4	26	28	2	6	100.00	
	札 幌 幌 南	4	69	68	- 1	0	100.00	
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	90.42	
	札 幌 南	3	91	96	5	0	92.85	
	札幌大通公園	3	19	20	1	4	61.60	
	札幌セントラル	4	19	16	- 3	4	86.50	
	新 札 幌	5	36	33	- 3	1	95.00	
	小 計			429	430	1	17	90.58
6	岩 内	4	33	31	- 2	0	74.00	
	倶 知 安	5	54	54	0	3	65.00	
	小 樽	5	74	75	1	0	84.01	
	小 樽 南	4	86	84	- 2	0	80.00	
	小 樽 銭 函	5	23	25	2	3	82.00	
	蘭 越	5	14	13	- 1	0	75.70	
	余 市	4	43	43	0	4	87.62	
小 計			327	325	- 2	10	78.33	

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,136人
 当月末会員数(女性) 3,117(87)人
 増加会員数 - 19人
 当月平均出席率 82.99%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.3.31	増減内	内女性	
7	千 歳	4	65	60	- 5	2	83.10
	千歳セントラル	4	30	28	- 2	0	81.10
	恵 庭	4	51	51	0	0	83.33
	北 広 島	3	19	19	0	2	88.89
	長 沼	3	18	18	0	3	83.40
	由 仁	4	15	15	0	0	81.67
	小 計			198	191	- 7	7
8	え り も	5	24	23	- 1	0	86.09
	三 石	3	17	17	0	1	90.19
	様 似	5	19	18	- 1	1	69.47
	静 内	5	67	70	3	0	78.21
	浦 河	5	40	39	- 1	1	75.39
	小 計			167	167	0	3
9	伊 達	4	56	59	3	0	79.66
	室 蘭	4	51	54	3	0	80.19
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	86.88
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	77.03
	登 別	5	39	39	0	2	80.00
	洞 爺 湖	4	10	9	- 1	0	100.00
	小 計			236	241	5	4
10	函 館	4	101	97	- 4	0	77.81
	函 館 亀 田	3	42	47	5	1	70.21
	森	4	43	43	0	0	72.00
	七 飯	4	24	24	0	0	79.10
	長 万 部	3	13	13	0	0	66.60
小 計			223	224	1	1	73.14
11	江 差	5	16	17	1	0	74.50
	函館五稜郭	4	68	63	- 5	0	93.79
	函 館 東	4	50	44	- 6	4	83.93
	函 館 北	4	37	36	- 1	0	77.14
	上 磯	4	29	29	0	3	62.10
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計			209	198	- 11	8	76.36
12	白 老	5	29	26	- 3	0	78.00
	苫 小 牧	4	56	62	6	0	83.86
	苫 小 牧 東	4	32	32	0	3	83.59
	苫 小 牧 北	4	41	39	- 2	2	81.58
	小 計			158	159	1	5
合 計			3,136	3,117	- 19	87	82.99

新入会員のご紹介



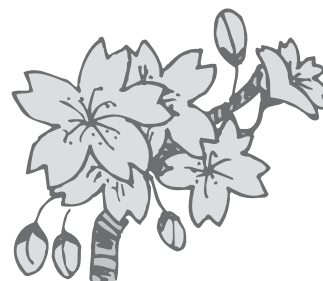
佐々木光治
江別RC
4月7日入会



澤田 秀二
江別RC
4月7日入会



大西 隆
伊達RC
4月12日入会



訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、
心からご冥福をお祈りいたします。

大井 綱雄 会員(千歳セントラルRC)
2005年3月31日ご逝去(享年61歳)

【ロータリー歴】

1990年11月19日入会(チャーターメンバー)

1992~93年度 会員増強委員長

1993~94年度 国際奉仕委員長

1996~97年度 第6代会長

1997~98年度 ロータリー情報委員長

2002~03年度 2510地区協議会
実行委員長

2003~04年度 ロータリー財団委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



5月・6月 地区カレンダー

5 月		6 月 ロータリー親睦活動月間	
1 (日)	第4・5グループ ロータリー 100周年記念こども音楽祭	1 (水)	
2 (月)		2 (木)	
3 (火)	憲法記念日	3 (金)	
4 (水)	国民の休日	4 (土)	
5 (木)	こどもの日	5 (日)	倶知安RC 40周年記念式典(ホテル第一会館,倶知安町) 国際親善奨学委員会,2006 - 2007選考
6 (金)		6 (月)	
7 (土)	第3グループ合同例会(13:30 ~,北海道医療大学)	7 (火)	
8 (日)		8 (水)	
9 (月)	第4回ガバナー会(11:00 ~,高輪プリンスホテル)	9 (木)	
10 (火)		10 (金)	
11 (水)		11 (土)	
12 (木)	意義ある業績選考委員会(札幌パークホテル)	12 (日)	新旧引継ぎ会議(札幌グランドホテル)
13 (金)	第13回地区幹事会(18:30 ~)	13 (月)	
14 (土)		14 (火)	
15 (日)		15 (水)	
16 (月)		16 (木)	
17 (火)		17 (金)	シカゴ国際大会地区ツアー出発
18 (水)		18 (土)	} インターアクト地区大会(ウェリントンホテル,ライディングヒルズ静内)
19 (木)		19 (日)	
20 (金)		20 (月)	} シカゴ国際大会
21 (土)	長沼RC「第13回長沼国際交流フェスティバル」(13:00 ~,長沼町民会館) 栗山RC 35周年式典(16:00 ~,ホテルパラダイスヒルズ)	21 (火)	
22 (日)	第1グループ合同「研修・交流会」(13:00 ~,羽幌温泉サンセットプラザ)	22 (水)	
23 (月)		23 (木)	
24 (火)		24 (金)	
25 (水)		25 (土)	
26 (木)		26 (日)	青少年交換委員会,派遣生激励会 & 受入学生送別会
27 (金)		27 (月)	地区ゴルフ大会(国際奉仕 - 親睦活動委員会)
28 (土)	} 75歳ローターアクト地区大会(アネックホテル)	28 (火)	
29 (日)		29 (水)	
30 (月)		30 (木)	
31 (火)			

ROTARY Four Avenues of Service 100 Years



www.rotary.info



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER